

マイクロプラスチック のこわさ

福岡市立多々良中学校1年4組C班

マイクロプラスチックとは...

ゴミとして捨てられた使用済みのプラスチックは川から海へと流れ着き、太陽光や波にさらされ、どんどん小さく砕かれていく。

そのようにしてできた直径五ミリ以下のプラスチックのかけらのこと。

現在、海底に沈んでいるマイクロプラスチックの量は800万トンだと言われている。

このままだと...

2050年には魚より海洋ゴミのほうが多くなってしまう可能性が！



海に及ぼす影響

海洋生物が餌と間違えて誤飲をしてしまったり、プラスチック製の袋や網が体に絡まるなどして、死に至る場合がある。

海の産業には、海洋生物への影響が広がることで本来取れるはずの漁獲量が減るという問題が起こる。

そして産業は漁業だけではなく、観光業にも影響を与える。

○今私達にできること

- ・ごみになるものは「貰わない」、「使わない」
- ・マイバックを持参する(レジ袋削減)
- ・マイボトルを持参する(ペットボトル削減)
- ・過剰な包装は断る
- ・使い捨てフォーク、スプーンなどの使用は控える

もっとプラスチックの3Rを進め、プラスチックを有効に賢く利用することで海のゴミを減らすことができるはず

みんなで海の豊かさを守ろう！！